

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 三相電機株式会社
 コード番号 6518 URL <http://www.sanso-elec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岡本 富男

TEL 079-266-1200

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,400	20.4	226	—	204	—	175	—
22年3月期第3四半期	6,147	△31.9	△200	—	△107	—	△296	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	19.43	—
22年3月期第3四半期	△32.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	9,268	5,215	56.3	577.92
22年3月期	8,575	5,116	59.7	566.87

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,215百万円 22年3月期 5,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,750	16.6	260	—	210	—	170	—	18.84

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 9,143,200株 22年3月期 9,143,200株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 118,218株 22年3月期 117,838株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 9,025,130株 22年3月期3Q 9,026,602株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。詳細は、【添付資料】P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済や企業収益の改善などにより景気を持ち直しが見られる一方で、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動などにより、景気が下押しされるリスクもあることから、依然として楽観視できない状況で推移してまいりました。

当社グループにおいては、空調用で使用されるモータや住宅関連設備用ポンプなどでは受注は緩やかに回復するとともに、工作機械用モータや半導体製造装置用ポンプ、工専用ポンプなどでは、引き続き好況な受注状況で推移してまいりました。

このような事業環境の中、お客様のタイトな納期要求により販売機会を損なわない為に、生産管理システムの見直しを図り短納期要求の対応を進めております。また鉄鋼材や非鉄金属の市場価格が上昇する中で、生産性の向上や諸経費削減などのコスト低減を引き続き実施し、業績回復に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は74億円（前年同期比120.4%）となり、営業利益は2億26百万円（前年同期は2億円の営業損失）、経常利益は2億4百万円（前年同期は1億7百万円の経常損失）となりました。また四半期純利益は1億75百万円（前年同期は早期退職者募集に伴う特別加算金および再就職支援に関わる費用1億56百万円を特別損失で計上したことにより2億96百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ6億92百万円増加し、92億68百万円となりました。主な内訳として現金及び預金では減少したものの受取手形及び売掛金、たな卸資産ならびに投資有価証券が増加したものであります。負債は前連結会計年度末と比べ5億93百万円増加し、40億52百万円となりました。主な内訳として支払手形及び買掛金、借入金が増加したものであります。純資産は前連結会計年度末と比べ99百万円増加し、52億15百万円となりました。主な内訳として、マイナス要因のその他有価証券評価差額金が増加したものの四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、9億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億96百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は37百万円（前年同期は1億60百万円の支出）となりました。これは主に1億90百万円の税金等調整前四半期純利益の計上、2億81百万円の減価償却費の計上、5億59百万円の仕入債務の増加等の増加要因が、6億34百万円の売上債権の増加、3億92百万円のたな卸資産の増加等の減少要因に相殺されたものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億73百万円（前年同期は5億41百万円の支出）となりました。これは主に1億62百万円の有形固定資産の取得、5億98百万円の投資有価証券の取得等の減少要因が、3億81百万円の投資有価証券の売却等の増加要因に相殺されたものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は54百万円（前年同期は60百万円の支出）となりました。これは主に60百万円の短期借入金の新規借入によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高は当初計画を上回る水準で推移いたしました。

今後については、先行きは不透明ながらも売上高は堅調に推移するものと予想しております。

一方、利益面においては、鉄鋼材や非鉄金属の市場価格が更に高値へと推移しており、製品への販売価格転嫁の可否やその時期によって、今後の業績に影響を与えることが考えられます。

なお、連結の業績予想につきまして、平成22年10月15日付の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表した数値からの変更はございませんが、連結業績予想に変更が生じた場合、速やかに業績予想の修正をお知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

法人税等の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。なお、これによる損益への影響はありません。

・表示方法の変更

四半期連結貸借対照表関係

前第3四半期連結会計期間において、固定負債に区分掲記しておりました「長期未払金」（当第3四半期連結会計期間末24,990千円）は、重要性が減少したため、第1四半期連結会計期間から固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	950,433	1,247,157
受取手形及び売掛金	3,708,679	3,094,347
商品及び製品	524,699	465,809
仕掛品	731,705	448,832
原材料及び貯蔵品	182,979	155,998
前払費用	17,043	6,339
繰延税金資産	1,630	1,008
その他	74,297	86,611
貸倒引当金	△9,158	△6,617
流動資産合計	6,182,309	5,499,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,732,501	2,780,434
減価償却累計額	△1,976,905	△1,973,633
建物及び構築物(純額)	755,595	806,800
機械装置及び運搬具	4,252,329	4,825,884
減価償却累計額	△3,748,532	△4,235,637
機械装置及び運搬具(純額)	503,797	590,246
工具、器具及び備品	2,916,099	3,065,323
減価償却累計額	△2,726,508	△2,848,815
工具、器具及び備品(純額)	189,591	216,508
土地	531,953	531,953
リース資産	23,352	15,120
減価償却累計額	△3,962	△1,008
リース資産(純額)	19,390	14,112
建設仮勘定	36,079	15,916
有形固定資産合計	2,036,406	2,175,536
無形固定資産		
のれん	1,654	2,398
その他	88,618	87,702
無形固定資産合計	90,272	90,101
投資その他の資産		
投資有価証券	876,013	728,258
繰延税金資産	8,182	7,092
その他	77,483	77,555
貸倒引当金	△2,500	△2,500
投資その他の資産合計	959,179	810,406
固定資産合計	3,085,858	3,076,044
資産合計	9,268,167	8,575,532

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,211,126	1,679,106
短期借入金	250,595	194,000
未払法人税等	23,306	16,615
未払費用	200,422	237,941
その他	245,537	246,783
流動負債合計	2,930,988	2,374,447
固定負債		
繰延税金負債	10,130	10,130
製品補償引当金	4,919	7,840
退職給付引当金	1,030,582	993,724
負ののれん	34,978	36,593
その他	40,836	36,632
固定負債合計	1,121,447	1,084,920
負債合計	4,052,435	3,459,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,600	871,600
資本剰余金	1,825,897	1,825,897
利益剰余金	2,584,232	2,408,909
自己株式	△38,408	△38,337
株主資本合計	5,243,321	5,068,069
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△59,658	△11,549
為替換算調整勘定	32,068	59,645
評価・換算差額等合計	△27,589	48,095
純資産合計	5,215,731	5,116,164
負債純資産合計	9,268,167	8,575,532

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,147,977	7,400,230
売上原価	5,313,998	6,045,455
売上総利益	833,979	1,354,775
販売費及び一般管理費		
運搬費	114,643	142,285
従業員給料及び手当	349,268	401,874
退職給付費用	31,929	24,894
貸倒引当金繰入額	6,638	7,258
研究開発費	196,802	204,446
減価償却費	33,320	32,106
のれん償却額	744	744
その他	300,919	314,233
販売費及び一般管理費合計	1,034,266	1,127,843
営業利益又は営業損失(△)	△200,286	226,931
営業外収益		
受取利息	1,077	1,883
受取配当金	8,167	9,606
仕入割引	957	630
為替差益	1,260	—
投資有価証券売却益	16,897	8,317
負ののれん償却額	1,614	1,614
助成金収入	53,639	—
その他	13,243	7,193
営業外収益合計	96,857	29,245
営業外費用		
支払利息	2,559	2,392
投資有価証券評価損	1,560	2,840
為替差損	—	45,967
営業外費用合計	4,119	51,200
経常利益又は経常損失(△)	△107,549	204,977
特別利益		
固定資産売却益	168	—
製品補償引当金戻入額	—	2,880
特別利益合計	168	2,880
特別損失		
固定資産除却損	12,667	11,750
投資有価証券評価損	5,067	5,449
割増退職金	156,090	—
特別損失合計	173,826	17,199
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△281,207	190,657
法人税、住民税及び事業税	10,331	17,046
法人税等調整額	4,684	△1,711
法人税等合計	15,015	15,335
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296,222	175,322

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△281,207	190,657
減価償却費	316,870	281,328
のれん償却額	744	744
負ののれん償却額	△1,614	△1,614
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,547	2,540
製品補償引当金の増減額(△は減少)	△665	△2,920
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△527,283	36,857
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△45,775	—
受取利息及び受取配当金	△9,245	△11,489
支払利息	2,559	2,392
為替差損益(△は益)	△3,579	26,573
有形固定資産売却損益(△は益)	△168	—
有形固定資産除却損	12,512	11,750
投資有価証券売却損益(△は益)	△16,897	△8,317
投資有価証券評価損益(△は益)	6,627	8,289
売上債権の増減額(△は増加)	319,430	△634,116
たな卸資産の増減額(△は増加)	266,820	△392,981
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,508	559,770
未払金の増減額(△は減少)	4,882	△6,113
未払費用の増減額(△は減少)	△126,530	△37,487
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,156	△6,739
長期未払金の増減額(△は減少)	37,499	—
その他	△27,383	24,354
小計	△163,519	43,479
利息及び配当金の受取額	9,330	10,537
利息の支払額	△2,559	△2,392
法人税等の支払額	△3,679	△14,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160,428	37,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△108,675	△162,529
有形固定資産の売却による収入	1,530	—
無形固定資産の取得による支出	△5,970	△15,158
投資有価証券の取得による支出	△690,476	△598,497
投資有価証券の売却による収入	203,627	381,540
投資有価証券の償還による収入	7,972	21,272
敷金及び保証金の差入による支出	△390	△415
敷金及び保証金の回収による収入	1,284	487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△541,097	△373,300

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60,000	60,000
自己株式の増減額 (△は増加)	△360	△70
配当金の支払額	△81	△76
リース債務の返済による支出	—	△4,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,441	54,926
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△758,524	△296,724
現金及び現金同等物の期首残高	1,630,386	1,247,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	871,862	950,433

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して同種、同系列の電気機械器具を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,538,955	609,022	6,147,977	—	6,147,977
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	69,194	218,888	288,082	(288,082)	—
計	5,608,149	827,911	6,436,060	(288,082)	6,147,977
営業損失	△151,196	△51,778	△202,974	2,687	△200,286

(注) 国又は地域の区分は、当社および連結子会社の所在国によっております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	683,356	87,306	57,067	827,730
II 連結売上高(千円)	—	—	—	6,147,977
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.1	1.4	0.9	13.5

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国および地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア …… 中国、マレーシア、台湾、韓国

(2) 欧州 …… ベルギー、イタリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

当社グループは、モータおよびポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。